

2019年度 事業実施報告

事業名	中聖牛組立設置と中間シンポジウム
日時	令和元年11月24日（日）8時30分から16時00分
場所	木津川玉水橋 京都府立山城勤労福祉会館
参加者数	100名
概要	<p>やましろ里山の会と京都大学が主催する、木津川の中聖牛設置による護岸活動。この活動は、木津川の護岸に中聖牛を置くことで川の流れを制御して、瀬やワンドの創出を促し、川の生態系の多様性を保つまたは広げていくことを目的としている。午前中は前日から作成していた竹蛇籠を学生・地域・淀川河川事務所等の総勢40名で2基作成した。午後は中間報告シンポジウムとして京都大学の竹門康弘先生と角哲也先生の講演があった。</p>
実施結果	<p>木津川流域でもかつて使われていた聖牛という伝統的な河川工法を復活させ、課題の解決を目指すプロジェクトを行政・学識者・職人・流域住民・学生を巻き込み実施した。このことは住民に河川に関して興味関心を持つ機会を積極的に作り、住民の意見を集め、河川の管理を行政だけでなく地域住民が参加して実践するというモデルにつながった。</p>
資料	 
ふりかえり	<p>中聖牛設置プロジェクトの牽引役を果たしたNPO法人やましろ里山の会等の地域住民の年齢が高齢化している。プロジェクトの牽引役を担う若い人材への引き継ぎが今後の持続的な継続をしていく鍵となる。</p>